

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	01
授業科目	発声
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、発声の基礎知識を基にプリントを用いて発声を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	発声の仕組みを理解することで、綺麗な発声を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 腹式呼吸、胸式呼吸の説明 2 声の響かせ方 ハミング説明 3 発声のポイント説明 4 呼吸の仕方 ロングブレス 5 配布プリントによる発声の基礎訓練1 6 配布プリントによる発声の基礎訓練2 7 配布プリントによる発声の基礎訓練3 8 配布プリントによる発声の基礎訓練4 9 配布プリントによる発声の基礎訓練5 10 配布プリントによる発声の基礎訓練6 11 配布プリントによる発声の基礎訓練7 12 配布プリントによる発声の基礎訓練8 13 配布プリントによる発声の基礎訓練9 14 配布プリントによる発声の基礎訓練10 15 配布プリントによる発声の基礎訓練11 16 配布プリントによる発声の基礎訓練12 17 配布プリントによる発声の基礎訓練13 18 配布プリントによる発声の基礎訓練14 19 配布プリントによる発声の基礎訓練15 20 発声の基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況

備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。
----	--

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	02
授業科目	アクセント
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、アクセントの基礎知識を基にプリントを用いてアクセントを身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	アクセントの仕組み理解することで、正確なアクセントを身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	1 アクセント辞典の説明 2 アクセントの付け方の説明 3 配布プリントによるアクセントの基礎訓練1 4 配布プリントによるアクセントの基礎訓練2 5 配布プリントによるアクセントの基礎訓練3 6 配布プリントによるアクセントの基礎訓練4 7 配布プリントによるアクセントの基礎訓練5 8 配布プリントによるアクセントの基礎訓練6 9 配布プリントによるアクセントの基礎訓練7 10 配布プリントによるアクセントの基礎訓練8 11 配布プリントによるアクセントの基礎訓練9 12 配布プリントによるアクセントの基礎訓練10 13 配布プリントによるアクセントの基礎訓練11 14 配布プリントによるアクセントの基礎訓練12 15 配布プリントによるアクセントの基礎訓練13 16 配布プリントによるアクセントの基礎訓練14 17 配布プリントによるアクセントの基礎訓練15 18 配布プリントによるアクセントの基礎訓練16 19 配布プリントによるアクセントの基礎訓練17 20 アクセントの基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況

備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。
----	--

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	03																				
授業科目	有声音、無声音																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	1年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、有声音、無声音の基礎知識を基にプリントを用いて有声音、無声音を身に付けさせる。																				
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																				
達成目標	有声音、無声音の仕組み理解することで、有声音、無声音の発音を使い分ける技術を身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>有声音、無声音の説明</td></tr> <tr><td>2</td><td>無声化する音の説明</td></tr> <tr><td>3</td><td>有声音、無声音の音の使い分け方説明</td></tr> <tr><td>4</td><td>配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練1</td></tr> <tr><td>5</td><td>配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練2</td></tr> <tr><td>6</td><td>配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練3</td></tr> <tr><td>7</td><td>配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練4</td></tr> <tr><td>8</td><td>配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練5</td></tr> <tr><td>9</td><td>配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練6</td></tr> <tr><td>10</td><td>有声音、無声音の基礎テスト</td></tr> </table>	1	有声音、無声音の説明	2	無声化する音の説明	3	有声音、無声音の音の使い分け方説明	4	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練1	5	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練2	6	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練3	7	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練4	8	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練5	9	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練6	10	有声音、無声音の基礎テスト
1	有声音、無声音の説明																				
2	無声化する音の説明																				
3	有声音、無声音の音の使い分け方説明																				
4	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練1																				
5	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練2																				
6	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練3																				
7	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練4																				
8	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練5																				
9	配布プリントによる有声音、無声音の基礎訓練6																				
10	有声音、無声音の基礎テスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	04
授業科目	鼻濁音
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、鼻濁音の基礎知識を基にプリントを用いて鼻濁音を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	鼻濁音の仕組み理解することで、鼻濁音と濁音を使い分ける技術を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 鼻濁音の説明 2 鼻音化する音の説明 3 鼻音と濁音の使い分け方の説明 4 配布プリントによる鼻濁音の基礎訓練1 5 配布プリントによる鼻濁音の基礎訓練2 6 配布プリントによる鼻濁音の基礎訓練3 7 配布プリントによる鼻濁音の基礎訓練4 8 配布プリントによる鼻濁音の基礎訓練5 9 配布プリントによる鼻濁音の基礎訓練6 10 鼻濁音の基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	05
授業科目	長音
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、長音の基礎知識を基にプリントを用いて長音を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	長音の仕組み理解することで、長音と単音を使い分ける技術を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 長音の説明 2 長音化する音の説明 3 長音化と単音両方ある音の説明 4 配布プリントによる長音の基礎訓練1 5 配布プリントによる長音の基礎訓練2 6 配布プリントによる長音の基礎訓練3 7 配布プリントによる長音の基礎訓練4 8 配布プリントによる長音の基礎訓練5 9 配布プリントによる長音の基礎訓練6 10 長音の基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容										
科目番号	06										
授業科目	体力作り										
学部・学科	声優タレント学科2年制										
履修年次	1年次										
開講学期	前期										
科目区分	必修										
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）										
授業時間	15時間										
授業コマ数	5コマ										
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、体力作りの基礎知識を基にプリントを用いて体力向上に努めさせる。										
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る										
達成目標	芝居と声を良くする為の体力作りの大切さや知識を身に付ける。										
教科書	オリジナルテキスト										
特記	ナレーター、俳優として業界で14年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。										
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>体力向上と声優の仕事との繋がりの説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>体カトレーニングの基礎訓練1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>体カトレーニングの基礎訓練2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>体カトレーニングの基礎訓練3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>体力作りのテスト</td> </tr> </table>	1	体力向上と声優の仕事との繋がりの説明	2	体カトレーニングの基礎訓練1	3	体カトレーニングの基礎訓練2	4	体カトレーニングの基礎訓練3	5	体力作りのテスト
1	体力向上と声優の仕事との繋がりの説明										
2	体カトレーニングの基礎訓練1										
3	体カトレーニングの基礎訓練2										
4	体カトレーニングの基礎訓練3										
5	体力作りのテスト										
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況										
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。										

授業概要(シラバス)

タイトル	内容										
科目番号	07										
授業科目	エチュード										
学部・学科	声優タレント学科2年制										
履修年次	1年次										
開講学期	前期										
科目区分	必修										
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）										
授業時間	15時間										
授業コマ数	5コマ										
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、芝居に必要な感情の動きに合わせた身体の動きを身に付けさせる。										
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る										
達成目標	芝居での感情に合った動き、止まる、動くを身に付ける。										
教科書	オリジナルテキスト										
特記	俳優、声優として業界で22年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。										
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>想像力と普段の動きの説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>お芝居での表現とリアルな表現の違いの説明</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>設定を付けてのエチュード</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>設定無しのエチュード</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>エチュードの基礎テスト</td> </tr> </table>	1	想像力と普段の動きの説明	2	お芝居での表現とリアルな表現の違いの説明	3	設定を付けてのエチュード	4	設定無しのエチュード	5	エチュードの基礎テスト
1	想像力と普段の動きの説明										
2	お芝居での表現とリアルな表現の違いの説明										
3	設定を付けてのエチュード										
4	設定無しのエチュード										
5	エチュードの基礎テスト										
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況										
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。										

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	08
授業科目	感情表現
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、芝居に必要な感情の出し方を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	シチュエーションに合った感情を出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、声優として業界で22年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 想像力と感情の量の説明 2 感情開放の基礎訓練1 3 感情開放の基礎訓練2 4 感情開放の基礎訓練3 5 感情のコントロール訓練1 6 感情のコントロール訓練2 7 感情のコントロール訓練3 8 感情表現の基礎訓練1 9 感情表現の基礎訓練2 10 感情表現の基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	09
授業科目	読解力
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、台本読みに必要な読解の力を身に付けさせる。
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	台本から、構成、心情、状況、キャラクター設定を読み取る力を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 台本の構成の説明 2 キャラクター設定、描写からの読み取り方説明1 3 キャラクター設定、描写からの読み取り方説明2 4 情景描写の読み取り方説明1 5 情景描写の読み取り方説明2 6 心情描写の読み取り方説明1 7 心情描写の読み取り方説明2 8 状況描写の読み取り方説明1 9 状況描写の読み取り方説明2 10 読解力の基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	10	
授業科目	身体、筋肉の使い方	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	5コマ	
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、声優に必要な身体の使い方や筋肉の動きを身に付けさせる。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	芝居を良くする為の身体、筋肉の使い方を身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	ナレーター、俳優として業界で14年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	人体構造と筋肉の説明
	2	身体の動きの説明
	3	筋カトレーニング1
	4	筋カトレーニング2
	5	身体、筋肉の使い方の基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	11
授業科目	役作り
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、役作りに必要な力を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	キャラクターの設定を読み取り、表現する力を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	声優、ナレーターとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 役作りに必要な説明 2 キャラクター設定の読み取り方説明1 3 キャラクター設定の読み取り方説明2 4 台本を使ってのキャラクター設定と表現1 5 台本を使ってのキャラクター設定と表現2 6 台本を使ってのキャラクター設定と表現3 7 台本を使ってのキャラクター設定と表現4 8 台本を使ってのキャラクター設定と表現5 9 台本を使ってのキャラクター設定と表現6 10 役作りの基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	12	
授業科目	一人セリフ	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、一人セリフに必要な力を身に付けさせる。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	一人でのセリフで、表現する力を身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	俳優、声優として業界で22年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	一人語りの技術説明
	2	台本を使ってのセリフと表現1
	3	台本を使ってのセリフと表現2
	4	台本を使ってのセリフと表現3
	5	台本を使ってのセリフと表現4
	6	台本を使ってのセリフと表現5
	7	台本を使ってのセリフと表現6
	8	台本を使ってのセリフと表現7
	9	台本を使ってのセリフと表現8
	10	一人セリフの基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	13
授業科目	掛け合いセリフ
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、掛け合いに必要な力を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	演者同士の掛け合いする力を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、声優として業界で22年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 掛け合いに必要な技術の説明 2 セリフ原稿を使って掛け合いの訓練1 3 セリフ原稿を使って掛け合いの訓練2 4 セリフ原稿を使って掛け合いの訓練3 5 セリフ原稿を使って掛け合いの訓練4 6 セリフ原稿を使って掛け合いの訓練5 7 セリフ原稿を使って掛け合いの訓練6 8 セリフ原稿を使って掛け合いの訓練7 9 セリフ原稿を使って掛け合いの訓練8 10 掛け合いセリフの基礎テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容										
科目番号	14										
授業科目	外郎売り										
学部・学科	声優タレント学科2年制										
履修年次	1年次										
開講学期	前期										
科目区分	必修										
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）										
授業時間	15時間										
授業コマ数	5コマ										
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、外郎売りを使って声優に必要な力を身に付けさせる。										
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ										
達成目標	外郎売りを覚えて表現力を上達させる。										
教科書	オリジナルテキスト										
特記	俳優、声優として業界で24年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。										
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>外郎売りの説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>外郎売りトレーニング1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>外郎売りトレーニング2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>外郎売りトレーニング3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>外郎売りのテスト</td> </tr> </table>	1	外郎売りの説明	2	外郎売りトレーニング1	3	外郎売りトレーニング2	4	外郎売りトレーニング3	5	外郎売りのテスト
1	外郎売りの説明										
2	外郎売りトレーニング1										
3	外郎売りトレーニング2										
4	外郎売りトレーニング3										
5	外郎売りのテスト										
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況										
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。										

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	15																				
授業科目	朗読																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	1年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、朗読に必要な力を身に付けさせる。																				
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																				
達成目標	朗読の読み方や表現を身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>朗読に必要な技術の説明</td></tr> <tr><td>2</td><td>台本を使って朗読の訓練1</td></tr> <tr><td>3</td><td>台本を使って朗読の訓練2</td></tr> <tr><td>4</td><td>台本を使って朗読の訓練3</td></tr> <tr><td>5</td><td>台本を使って朗読の訓練4</td></tr> <tr><td>6</td><td>台本を使って朗読の訓練5</td></tr> <tr><td>7</td><td>台本を使って朗読の訓練6</td></tr> <tr><td>8</td><td>台本を使って朗読の訓練7</td></tr> <tr><td>9</td><td>台本を使って朗読の訓練8</td></tr> <tr><td>10</td><td>朗読のテスト</td></tr> </table>	1	朗読に必要な技術の説明	2	台本を使って朗読の訓練1	3	台本を使って朗読の訓練2	4	台本を使って朗読の訓練3	5	台本を使って朗読の訓練4	6	台本を使って朗読の訓練5	7	台本を使って朗読の訓練6	8	台本を使って朗読の訓練7	9	台本を使って朗読の訓練8	10	朗読のテスト
1	朗読に必要な技術の説明																				
2	台本を使って朗読の訓練1																				
3	台本を使って朗読の訓練2																				
4	台本を使って朗読の訓練3																				
5	台本を使って朗読の訓練4																				
6	台本を使って朗読の訓練5																				
7	台本を使って朗読の訓練6																				
8	台本を使って朗読の訓練7																				
9	台本を使って朗読の訓練8																				
10	朗読のテスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	16
授業科目	台本を使つての修了発表
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、修了発表を通し演技力を上げさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	発表をして舞台を完成させる。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、声優として業界で22年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	1 修了発表の台本説明、読み。 2 修了発表の稽古1 3 修了発表の稽古2 4 修了発表の稽古3 5 修了発表の稽古4 6 修了発表の稽古5 7 修了発表の稽古6 8 修了発表の稽古7 9 修了発表の稽古8 10 修了発表のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	17	
授業科目	キャラクターの演じ分け	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、キャラクターの演じ分けを方を身に付けさせる。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	キャラクターの演じ分け方を身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	キャラクターの性格、特徴の説明
	2	キャラクターの性格にあったセリフの説明。
	3	セリフ原稿を使つての訓練1
	4	セリフ原稿を使つての訓練2
	5	セリフ原稿を使つての訓練3
	6	セリフ原稿を使つての訓練4
	7	セリフ原稿を使つての訓練5
	8	セリフ原稿を使つての訓練6
	9	セリフ原稿を使つての訓練7
	10	キャラクターの演じ分けのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容										
科目番号	18										
授業科目	マイクの使い方										
学部・学科	声優タレント学科2年制										
履修年次	1年次										
開講学期	前期										
科目区分	必修										
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）										
授業時間	15時間										
授業コマ数	5コマ										
授業概要	現役の講師が、スタジオでマイクの使い方を身に付けさせる。										
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る										
達成目標	アフレコに必要なマイクの使い方を身に付ける。										
教科書	オリジナルテキスト										
特記	声優として業界で13年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。										
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>マイクの使い方の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>台本を使っての訓練1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>台本を使っての訓練2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>台本を使っての訓練3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>マイクの使い方のテスト</td> </tr> </table>	1	マイクの使い方の説明	2	台本を使っての訓練1	3	台本を使っての訓練2	4	台本を使っての訓練3	5	マイクの使い方のテスト
1	マイクの使い方の説明										
2	台本を使っての訓練1										
3	台本を使っての訓練2										
4	台本を使っての訓練3										
5	マイクの使い方のテスト										
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況										
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。										

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	19
授業科目	台本の見方
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	15時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	現役の講師が、アフレコ台本の見方を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	アフレコで使う台本の専門用語や見方を理解する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	声優として業界で13年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 アフレコ台本の説明 2 専門用語の説明 3 台本を使ってのアフレコ訓練1 4 台本を使ってのアフレコ訓練2 5 台本の見方のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	20	
授業科目	アニメアフレコ実習	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	現役の講師が、アニメの題材を使ってアニメアフレコの演じ方を身に付けさせる。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	スタジオでアニメの題材を使ってアフレコでの演技を身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	声優として業界で13年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	アニメキャラクター、台本の説明
	2	アニメ台本を使っての訓練1
	3	アニメ台本を使っての訓練2
	4	アニメ台本を使っての訓練3
	5	アニメ台本を使っての訓練4
	6	アニメ台本を使っての訓練5
	7	アニメ台本を使っての訓練6
	8	アニメ台本を使っての訓練7
	9	アニメ台本を使っての訓練8
	10	アニメアフレコのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	21
授業科目	外画アフレコ実習
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、外画の題材を使ってアニメアフレコの演技方を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	スタジオで外画の題材を使ってアフレコでの演技を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	声優として業界で13年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 外画の登場人物、台本の説明 2 外画の台本を使っての訓練1 3 外画の台本を使っての訓練2 4 外画の台本を使っての訓練3 5 外画の台本を使っての訓練4 6 外画の台本を使っての訓練5 7 外画の台本を使っての訓練6 8 外画の台本を使っての訓練7 9 外画の台本を使っての訓練8 10 外画アフレコ実習のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	22	
授業科目	自己PR (オーディション対策)	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習 (実務経験のある教員による授業科目です)	
授業時間	15時間	
授業コマ数	5コマ	
授業概要	現役の講師が、オーディションで使う自己PRを身に付けさせる。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	オーディション用の自己PRを身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	ナレーター、俳優として業界で14年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	自己PRの説明
	2	自己PRの訓練1
	3	自己PRの訓練2
	4	自己PRの訓練3
	5	自己PRのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	23
授業科目	セリフ (オーディション対策)
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	15時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、オーディション時のセリフでの演技方を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	オーディション時のセリフでの演技方を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オーディション時のセリフ原稿の説明 2 オーディション形式のセリフ訓練1 3 オーディション形式のセリフ訓練2 4 オーディション形式のセリフ訓練3 5 セリフ(オーディション形式)のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	24
授業科目	アフレコ（オーディション対策）
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	15時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	現役の講師が、スタジオでのアフレコオーディションを想定した対策を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	スタジオでのアフレコオーディションの動きと演技力を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	声優として業界で13年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 アフレコオーディションの動きの説明 2 アフレコオーディションの訓練1 3 アフレコオーディションの訓練2 4 アフレコオーディションの訓練3 5 アフレコ(オーディション対策)のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	25	
授業科目	ナレーション (オーディション対策)	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習 (実務経験のある教員による授業科目です)	
授業時間	15時間	
授業コマ数	5コマ	
授業概要	現役の講師が、ナレーションのオーディション対策を身に付ける。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	ナレーションのオーディション対策を身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	ナレーターとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	ナレーションのオーディション対策の説明
	2	ナレーションのオーディション対策訓練1
	3	ナレーションのオーディション対策訓練2
	4	ナレーションのオーディション対策訓練3
	5	ナレーション(オーディション対策)テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	26	
授業科目	CMナレーション	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	現役の講師が、CMナレーションの語りを身に付させる。	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	CMナレーションの語りを身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	ナレーターとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	CMナレーションの説明
	2	原稿を使ったCMナレーションの訓練1
	3	原稿を使ったCMナレーションの訓練2
	4	原稿を使ったCMナレーションの訓練3
	5	原稿を使ったCMナレーションの訓練4
	6	原稿を使ったCMナレーションの訓練5
	7	原稿を使ったCMナレーションの訓練6
	8	原稿を使ったCMナレーションの訓練7
	9	原稿を使ったCMナレーションの訓練8
	10	CMナレーションのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	27
授業科目	番組ナレーション
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、番組ナレーションの語りを身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	番組ナレーションの語りを身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	ナレーターとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 番組ナレーションの説明 2 原稿を使った番組ナレーションの訓練1 3 原稿を使った番組ナレーションの訓練2 4 原稿を使った番組ナレーションの訓練3 5 原稿を使った番組ナレーションの訓練4 6 原稿を使った番組ナレーションの訓練5 7 原稿を使った番組ナレーションの訓練6 8 原稿を使った番組ナレーションの訓練7 9 原稿を使った番組ナレーションの訓練8 10 番組ナレーションのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	28																				
授業科目	PVナレーション																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	1年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	現役の講師が、PVナレーションの語りを身に付けさせる。																				
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																				
達成目標	PVナレーションの語りを身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	ナレーターとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>PVナレーションの説明</td></tr> <tr><td>2</td><td>原稿を使ったPVナレーションの訓練1</td></tr> <tr><td>3</td><td>原稿を使ったPVナレーションの訓練2</td></tr> <tr><td>4</td><td>原稿を使ったPVナレーションの訓練3</td></tr> <tr><td>5</td><td>原稿を使ったPVナレーションの訓練4</td></tr> <tr><td>6</td><td>原稿を使ったPVナレーションの訓練5</td></tr> <tr><td>7</td><td>原稿を使ったPVナレーションの訓練6</td></tr> <tr><td>8</td><td>原稿を使ったPVナレーションの訓練7</td></tr> <tr><td>9</td><td>原稿を使ったPVナレーションの訓練8</td></tr> <tr><td>10</td><td>PVナレーションのテスト</td></tr> </table>	1	PVナレーションの説明	2	原稿を使ったPVナレーションの訓練1	3	原稿を使ったPVナレーションの訓練2	4	原稿を使ったPVナレーションの訓練3	5	原稿を使ったPVナレーションの訓練4	6	原稿を使ったPVナレーションの訓練5	7	原稿を使ったPVナレーションの訓練6	8	原稿を使ったPVナレーションの訓練7	9	原稿を使ったPVナレーションの訓練8	10	PVナレーションのテスト
1	PVナレーションの説明																				
2	原稿を使ったPVナレーションの訓練1																				
3	原稿を使ったPVナレーションの訓練2																				
4	原稿を使ったPVナレーションの訓練3																				
5	原稿を使ったPVナレーションの訓練4																				
6	原稿を使ったPVナレーションの訓練5																				
7	原稿を使ったPVナレーションの訓練6																				
8	原稿を使ったPVナレーションの訓練7																				
9	原稿を使ったPVナレーションの訓練8																				
10	PVナレーションのテスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	29
授業科目	発声(歌)
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、キャラクターの演じ分けを方歌の発声を身に付させる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	歌の発声方法を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 普段の発声と歌の発声の違いを説明。 2 課題曲を使つての発声訓練1 3 課題曲を使つての発声訓練2 4 課題曲を使つての発声訓練3 5 課題曲を使つての発声訓練4 6 課題曲を使つての発声訓練5 7 課題曲を使つての発声訓練6 8 課題曲を使つての発声訓練7 9 課題曲を使つての発声訓練8 10 発声(歌)のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	30
授業科目	音程
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、音程のとりかたを身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	音程のとりかたを身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 音の捉え方の説明。 2 課題曲を使つての音程の訓練1 3 課題曲を使つての音程の訓練2 4 課題曲を使つての音程の訓練3 5 課題曲を使つての音程の訓練4 6 課題曲を使つての音程の訓練5 7 課題曲を使つての音程の訓練6 8 課題曲を使つての音程の訓練7 9 課題曲を使つての音程の訓練8 10 音程のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	31
授業科目	ボーカルレッスン
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、歌の技術を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	歌の技術を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 歌い方、技術の説明 2 課題曲を使つてのボーカルレッスンの訓練1 3 課題曲を使つてのボーカルレッスンの訓練2 4 課題曲を使つてのボーカルレッスンの訓練3 5 課題曲を使つてのボーカルレッスンの訓練4 6 課題曲を使つてのボーカルレッスンの訓練5 7 課題曲を使つてのボーカルレッスンの訓練6 8 課題曲を使つてのボーカルレッスンの訓練7 9 課題曲を使つてのボーカルレッスンの訓練8 10 ボーカルレッスンのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	32
授業科目	発表会
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、発表会を通して歌唱力を上げさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	発表会を通して歌唱力を上げる。
教科書	オリジナルテキスト
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 発表会の説明 2 選曲した曲の練習1 3 選曲した曲の練習2 4 選曲した曲の練習3 5 選曲した曲の練習4 6 選曲した曲の練習5 7 選曲した曲の練習6 8 選曲した曲の練習7 9 選曲した曲の練習8 10 発表会のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	33	
授業科目	ストレッチ	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	5コマ	
授業概要	現役の講師が、声を使う為に身体の柔軟やストレッチを身に付けさせる。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	ストレッチや身体の柔軟性を身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	ストレッチと柔軟の説明
	2	ストレッチと柔軟訓練1
	3	ストレッチと柔軟訓練2
	4	ストレッチと柔軟訓練3
	5	ストレッチのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	34	
授業科目	リズム感	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	5コマ	
授業概要	現役の講師が、音楽を通してリズム感を身に付ける。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	歌に必要なリズム感を身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で50年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	リズム感の説明
	2	課題曲を使ってのリズム感の訓練1
	3	課題曲を使ってのリズム感の訓練2
	4	課題曲を使ってのリズム感の訓練3
	5	リズム感のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	01																				
授業科目	一般常識																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	2年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	実務経験のある職員が、一般常識を身に付けさせる。																				
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ																				
達成目標	一般常識を身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>業界の一般常識の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>台本にでてくる漢字の書き取り</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>アニメ業界の歴史の説明</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>日本史の流れ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>世界史の流れ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>業界用語の説明</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>業界での立ち居振る舞いの説明</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>業界の仕組みの説明</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>業界の仕事の流れの説明</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>一般常識の基礎テスト</td> </tr> </table>	1	業界の一般常識の説明	2	台本にでてくる漢字の書き取り	3	アニメ業界の歴史の説明	4	日本史の流れ	5	世界史の流れ	6	業界用語の説明	7	業界での立ち居振る舞いの説明	8	業界の仕組みの説明	9	業界の仕事の流れの説明	10	一般常識の基礎テスト
1	業界の一般常識の説明																				
2	台本にでてくる漢字の書き取り																				
3	アニメ業界の歴史の説明																				
4	日本史の流れ																				
5	世界史の流れ																				
6	業界用語の説明																				
7	業界での立ち居振る舞いの説明																				
8	業界の仕組みの説明																				
9	業界の仕事の流れの説明																				
10	一般常識の基礎テスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	02	
授業科目	ビジネスマナー	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	実務経験のある職員が、業界のマナーを身に付けさせる。	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	業界のマナーを身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	ビジネスマナーの説明
	2	挨拶の仕方
	3	請求書の書き方説明
	4	メールの出し方、受け方
	5	電話対応
	6	ランク、所属、準所属、預かり所属の説明
	7	声優事務所、養成所、劇団の説明
	8	オーディションの流れの説明
	9	アフレコ現場の対応説明
	10	ビジネスマナーのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	03
授業科目	演技実習1
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	現役の講師が、演技実習の知識を基に台本を用いて演技力向上を目指す。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	プロで通用する演技力の向上を図る。
教科書	オリジナルテキスト
特記	演出家として業界で40年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 台本の説明 2 台本読み1 3 台本読み2 4 台本読み3 5 キャスティング決め 6 荒立ち稽古1 7 荒立ち稽古2 8 荒立ち稽古3 9 荒立ち稽古4 10 荒立ち稽古5 11 荒立ち稽古6 12 荒立ち稽古7 13 通し稽古1 14 通し稽古2 15 通し稽古3 16 通し稽古4 17 通し稽古5 18 通し稽古6 19 通し稽古7 20 演技実習1テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況

備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。
----	--

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	04	
授業科目	演技実習2	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	60時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	現役の講師が、演技実習の知識を基に台本を用いて演技力向上を目指す。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	プロで通用する演技力の向上を図る。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	台本の説明
	2	台本読み1
	3	台本読み2
	4	台本読み3
	5	キャスティング決め
	6	荒立ち稽古1
	7	荒立ち稽古2
	8	荒立ち稽古3
	9	荒立ち稽古4
	10	荒立ち稽古5
	11	荒立ち稽古6
	12	荒立ち稽古7
	13	通し稽古1
	14	通し稽古2
	15	通し稽古3
	16	通し稽古4
	17	通し稽古5
	18	通し稽古6
	19	通し稽古7
	20	演技実習2テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	

備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。
----	--

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	05
授業科目	卒業公演
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	90時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	現役の講師が、舞台公演の知識を基に台本を用いて演技力向上と舞台演技を身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	プロで通用する演技力の向上を図る。
教科書	オリジナルテキスト
特記	演出家として業界で40年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	1 台本の説明 2 台本読み1 3 台本読み2 4 台本読み3 5 台本読み4 6 台本読み5 7 キャスティング決め 8 荒立ち稽古1 9 荒立ち稽古2 10 荒立ち稽古3 11 荒立ち稽古4 12 荒立ち稽古5 13 荒立ち稽古6 14 荒立ち稽古7 15 荒立ち稽古8 16 荒立ち稽古9 17 荒立ち稽古10 18 通し稽古1 19 通し稽古2 20 通し稽古3 21 通し稽古4 22 通し稽古5 23 通し稽古6

授業計画	24 通し稽古7 25 通し稽古8 26 通し稽古9 27 通し稽古10 28 通し稽古11 29 通し稽古12 30 卒業公演テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	06	
授業科目	朗読1	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	実務経験のある職員が、個人での朗読の読み取り方を身に付けさせる。	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	個人での朗読の読み取り方身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	演出家として業界で40年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	台本の説明
	2	台本の解釈、キャラクター設定の説明
	3	台本を使つての朗読1
	4	台本を使つての朗読2
	5	台本を使つての朗読3
	6	台本を使つての朗読4
	7	台本を使つての朗読5
	8	台本を使つての朗読6
	9	台本を使つての朗読7
	10	朗読1のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	07																				
授業科目	朗読2																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	2年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	実務経験のある職員が、集団での朗読の読み取り方を身に付けさせる。																				
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ																				
達成目標	集団での朗読の読み取り方身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>台本の説明</td></tr> <tr><td>2</td><td>台本の解釈、キャラクター設定の説明</td></tr> <tr><td>3</td><td>台本を使っての朗読1</td></tr> <tr><td>4</td><td>台本を使っての朗読2</td></tr> <tr><td>5</td><td>台本を使っての朗読3</td></tr> <tr><td>6</td><td>台本を使っての朗読4</td></tr> <tr><td>7</td><td>台本を使っての朗読5</td></tr> <tr><td>8</td><td>台本を使っての朗読6</td></tr> <tr><td>9</td><td>台本を使っての朗読7</td></tr> <tr><td>10</td><td>朗読1のテスト</td></tr> </table>	1	台本の説明	2	台本の解釈、キャラクター設定の説明	3	台本を使っての朗読1	4	台本を使っての朗読2	5	台本を使っての朗読3	6	台本を使っての朗読4	7	台本を使っての朗読5	8	台本を使っての朗読6	9	台本を使っての朗読7	10	朗読1のテスト
1	台本の説明																				
2	台本の解釈、キャラクター設定の説明																				
3	台本を使っての朗読1																				
4	台本を使っての朗読2																				
5	台本を使っての朗読3																				
6	台本を使っての朗読4																				
7	台本を使っての朗読5																				
8	台本を使っての朗読6																				
9	台本を使っての朗読7																				
10	朗読1のテスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容										
科目番号	08										
授業科目	台本の見方										
学部・学科	声優タレント学科2年制										
履修年次	2年次										
開講学期	前期										
科目区分	必修										
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）										
授業時間	15時間										
授業コマ数	5コマ										
授業概要	現役の講師が、アフレコに必要な台本を見る力を身に付けさせる。										
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ										
達成目標	アフレコ現場で使う台本の見方を理解する。										
教科書	オリジナルテキスト										
特記	声優として業界で10年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。										
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>アニメ、外画、ゲームアフレコ台本の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>アニメ、外画、ゲーム台本の専門用語の説明</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>台本を使ってのアフレコ訓練1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>台本を使ってのアフレコ訓練2</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>台本の見方のテスト</td> </tr> </table>	1	アニメ、外画、ゲームアフレコ台本の説明	2	アニメ、外画、ゲーム台本の専門用語の説明	3	台本を使ってのアフレコ訓練1	4	台本を使ってのアフレコ訓練2	5	台本の見方のテスト
1	アニメ、外画、ゲームアフレコ台本の説明										
2	アニメ、外画、ゲーム台本の専門用語の説明										
3	台本を使ってのアフレコ訓練1										
4	台本を使ってのアフレコ訓練2										
5	台本の見方のテスト										
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況										
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。										

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	09
授業科目	役作り
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	15時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、役作りに必要な力を身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	キャラクターの設定を読み取り、表現する力を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	声優として業界で36年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャラクター別の役作りに必要な説明 2 原稿を使ってのキャラクターの読み取り方1 3 原稿を使ってのキャラクターの読み取り方2 4 原稿を使ってのキャラクターの表現1 5 原稿を使ってのキャラクターの表現2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	10
授業科目	アフレコ実習 (アニメ)
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、実際に収録で使われるスタジオでアニメの題材を使ってアフレコの演じ方を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	アニメの題材を使って実際に収録で使われるアフレコでの演技を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	声優として業界で10年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 アニメキャラクター、台本の説明 2 アニメの台本を使ってのスタジオ訓練1 3 アニメの台本を使ってのスタジオ訓練2 4 アニメの台本を使ってのスタジオ訓練3 5 アニメの台本を使ってのスタジオ訓練4 6 アニメの台本を使ってのスタジオ訓練5 7 アニメの台本を使ってのスタジオ訓練6 8 アニメの台本を使ってのスタジオ訓練7 9 アニメの台本を使ってのスタジオ訓練8 10 アフレコ実習(アニメ)のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	11																				
授業科目	アフレコ実習(外画)																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	2年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	現役の講師が、実際に収録で使われるスタジオで外画の題材を使ってアフレコの演技方を身に付けさせる。																				
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																				
達成目標	外画の題材を使って実際に収録で使われるアフレコでの演技を身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	声優として業界で10年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>外画の配役、台本の説明</td></tr> <tr><td>2</td><td>外画の台本を使ってのスタジオ訓練1</td></tr> <tr><td>3</td><td>外画の台本を使ってのスタジオ訓練2</td></tr> <tr><td>4</td><td>外画の台本を使ってのスタジオ訓練3</td></tr> <tr><td>5</td><td>外画の台本を使ってのスタジオ訓練4</td></tr> <tr><td>6</td><td>外画の台本を使ってのスタジオ訓練5</td></tr> <tr><td>7</td><td>外画の台本を使ってのスタジオ訓練6</td></tr> <tr><td>8</td><td>外画の台本を使ってのスタジオ訓練7</td></tr> <tr><td>9</td><td>外画の台本を使ってのスタジオ訓練8</td></tr> <tr><td>10</td><td>アフレコ実習(外画)のテスト</td></tr> </table>	1	外画の配役、台本の説明	2	外画の台本を使ってのスタジオ訓練1	3	外画の台本を使ってのスタジオ訓練2	4	外画の台本を使ってのスタジオ訓練3	5	外画の台本を使ってのスタジオ訓練4	6	外画の台本を使ってのスタジオ訓練5	7	外画の台本を使ってのスタジオ訓練6	8	外画の台本を使ってのスタジオ訓練7	9	外画の台本を使ってのスタジオ訓練8	10	アフレコ実習(外画)のテスト
1	外画の配役、台本の説明																				
2	外画の台本を使ってのスタジオ訓練1																				
3	外画の台本を使ってのスタジオ訓練2																				
4	外画の台本を使ってのスタジオ訓練3																				
5	外画の台本を使ってのスタジオ訓練4																				
6	外画の台本を使ってのスタジオ訓練5																				
7	外画の台本を使ってのスタジオ訓練6																				
8	外画の台本を使ってのスタジオ訓練7																				
9	外画の台本を使ってのスタジオ訓練8																				
10	アフレコ実習(外画)のテスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	12																				
授業科目	マイクの使い方																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	2年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	現役の講師が、スタジオでマイクワークや使い方を身に付けさせる。																				
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																				
達成目標	アフレコに必要なマイクワークやマイクの使い方を身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	声優として業界で10年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>マイクワークの説明</td></tr> <tr><td>2</td><td>台本を使つての訓練1</td></tr> <tr><td>3</td><td>台本を使つての訓練2</td></tr> <tr><td>4</td><td>台本を使つての訓練3</td></tr> <tr><td>5</td><td>台本を使つての訓練4</td></tr> <tr><td>6</td><td>台本を使つての訓練5</td></tr> <tr><td>7</td><td>台本を使つての訓練6</td></tr> <tr><td>8</td><td>台本を使つての訓練7</td></tr> <tr><td>9</td><td>台本を使つての訓練8</td></tr> <tr><td>10</td><td>マイクの使い方のテスト</td></tr> </table>	1	マイクワークの説明	2	台本を使つての訓練1	3	台本を使つての訓練2	4	台本を使つての訓練3	5	台本を使つての訓練4	6	台本を使つての訓練5	7	台本を使つての訓練6	8	台本を使つての訓練7	9	台本を使つての訓練8	10	マイクの使い方のテスト
1	マイクワークの説明																				
2	台本を使つての訓練1																				
3	台本を使つての訓練2																				
4	台本を使つての訓練3																				
5	台本を使つての訓練4																				
6	台本を使つての訓練5																				
7	台本を使つての訓練6																				
8	台本を使つての訓練7																				
9	台本を使つての訓練8																				
10	マイクの使い方のテスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	13
授業科目	役の演じ分け
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、複数の役作りに必要な力を身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	複数の役作りに必要な力を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャラクター別の特徴の捉え方説明 2 キャラクター別の特徴の表現方法説明 3 原稿を使っての複数のキャラクターの表現1 4 原稿を使っての複数のキャラクターの表現2 5 原稿を使っての複数のキャラクターの表現3 6 原稿を使っての複数のキャラクターの表現4 7 原稿を使っての複数のキャラクターの表現5 8 原稿を使っての複数のキャラクターの表現6 9 原稿を使っての複数のキャラクターの表現7 10 役の演じ分けのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	14
授業科目	ボイスサンプル制作(セリフ)
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	現役の講師が、ボイスサンプル(セリフ)の作り方を身に付けさせる。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	ボイスサンプル(セリフ)の作り方を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	声優として業界で10年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボイスサンプル(セリフ)の説明 2 ボイスサンプル(セリフ)の原稿の作り方 3 ボイスサンプル(セリフ)の原稿作成1 4 ボイスサンプル(セリフ)の原稿作成2 5 ボイスサンプル(セリフ)の原稿作成3 6 ボイスサンプル(セリフ)の原稿作成4 7 ボイスサンプル(セリフ)の原稿作成5 8 原稿の訓練1 9 原稿の訓練2 10 原稿の訓練3 11 原稿の訓練4 12 原稿の訓練5 13 原稿の訓練6 14 原稿の訓練7 15 原稿の訓練8 16 原稿の訓練9 17 原稿の訓練10 18 原稿の訓練11 19 原稿の訓練12 20 ボイスサンプル(セリフ)のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況

備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。
----	--

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	15
授業科目	CMナレーション
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、CMナレーションの様々なパターンの語りを身に付させる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々なパターンのCMナレーションの語りを身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	ナレーター、俳優として業界で14年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々なパターンのCMナレーションの説明 2 原稿を使ったCMナレーションの訓練1 3 原稿を使ったCMナレーションの訓練2 4 原稿を使ったCMナレーションの訓練3 5 原稿を使ったCMナレーションの訓練4 6 原稿を使ったCMナレーションの訓練5 7 原稿を使ったCMナレーションの訓練6 8 原稿を使ったCMナレーションの訓練7 9 原稿を使ったCMナレーションの訓練8 10 CMナレーションのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	16
授業科目	番組ナレーション
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	番組ナレーションの様々なパターンの語りを身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々なパターンの番組ナレーションの語りを身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	ナレーター、俳優として業界で14年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々なパターンの番組ナレーションの説明 2 原稿を使ったPVナレーションの訓練1 3 原稿を使ったPVナレーションの訓練2 4 原稿を使ったPVナレーションの訓練3 5 原稿を使ったPVナレーションの訓練4 6 原稿を使ったPVナレーションの訓練5 7 原稿を使ったPVナレーションの訓練6 8 原稿を使ったPVナレーションの訓練7 9 原稿を使ったPVナレーションの訓練8 10 番組ナレーションのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	17
授業科目	PVナレーション
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	PVナレーションの様々なパターンの語りを身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々なパターンのPVナレーションの語りを身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	ナレーター、俳優として業界で14年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々なパターンのPVナレーションの説明 2 原稿を使ったPVナレーションの訓練1 3 原稿を使ったPVナレーションの訓練2 4 原稿を使ったPVナレーションの訓練3 5 原稿を使ったPVナレーションの訓練4 6 原稿を使ったPVナレーションの訓練5 7 原稿を使ったPVナレーションの訓練6 8 原稿を使ったPVナレーションの訓練7 9 原稿を使ったPVナレーションの訓練8 10 PVナレーションのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	18
授業科目	ボイスサンプル制作(ナレーション)
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	現役の講師が、ボイスサンプル(ナレーション)の作り方を身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ボイスサンプル(ナレーション)の作り方を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	ナレーター、俳優として業界で14年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボイスサンプル(ナレーション)の説明 2 ボイスサンプル(ナレーション)の原稿の作り方 3 ボイスサンプル(ナレーション)の原稿作成1 4 ボイスサンプル(ナレーション)の原稿作成2 5 ボイスサンプル(ナレーション)の原稿作成3 6 ボイスサンプル(ナレーション)の原稿作成4 7 ボイスサンプル(ナレーション)の原稿作成5 8 原稿の訓練1 9 原稿の訓練2 10 原稿の訓練3 11 原稿の訓練4 12 原稿の訓練5 13 原稿の訓練6 14 原稿の訓練7 15 原稿の訓練8 16 原稿の訓練9 17 原稿の訓練10 18 原稿の訓練11 19 原稿の訓練12 20 ボイスサンプル(ナレーション)のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況

備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。
----	--

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	19																				
授業科目	自己PR (オーディション対策)																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	2年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	演習 (実務経験のある教員による授業科目です)																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	現役の講師が、オーディションでの時間制限がある自己PRを身に付けさせる。																				
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ																				
達成目標	オーディションでの時間制限がある自己PRを身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	声優として業界で36年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>自己PRの時間管理の説明</td></tr> <tr><td>2</td><td>30秒、1分等の自己PRの時間管理の説明</td></tr> <tr><td>3</td><td>自己PRの訓練1</td></tr> <tr><td>4</td><td>自己PRの訓練2</td></tr> <tr><td>5</td><td>自己PRの訓練3</td></tr> <tr><td>6</td><td>自己PRの訓練4</td></tr> <tr><td>7</td><td>自己PRの訓練5</td></tr> <tr><td>8</td><td>自己PRの訓練6</td></tr> <tr><td>9</td><td>自己PRの訓練7</td></tr> <tr><td>10</td><td>自己PRのテスト</td></tr> </table>	1	自己PRの時間管理の説明	2	30秒、1分等の自己PRの時間管理の説明	3	自己PRの訓練1	4	自己PRの訓練2	5	自己PRの訓練3	6	自己PRの訓練4	7	自己PRの訓練5	8	自己PRの訓練6	9	自己PRの訓練7	10	自己PRのテスト
1	自己PRの時間管理の説明																				
2	30秒、1分等の自己PRの時間管理の説明																				
3	自己PRの訓練1																				
4	自己PRの訓練2																				
5	自己PRの訓練3																				
6	自己PRの訓練4																				
7	自己PRの訓練5																				
8	自己PRの訓練6																				
9	自己PRの訓練7																				
10	自己PRのテスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	20
授業科目	セリフ（オーディション対策）
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、オーディション時に必要な様々なシチュエーションでのセリフの演技方を身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	オーディション時に様々なシチュエーションでのセリフの演技方を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	俳優、ナレーターとして業界で10年活動していた講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オーディション時のシチュエーションにあったセリフ原稿の説明 2 オーディション形式のセリフ訓練1 3 オーディション形式のセリフ訓練2 4 オーディション形式のセリフ訓練3 5 オーディション形式のセリフ訓練4 6 オーディション形式のセリフ訓練5 7 オーディション形式のセリフ訓練6 8 オーディション形式のセリフ訓練7 9 オーディション形式のセリフ訓練8 10 セリフ(オーディション形式)のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	21
授業科目	アフレコ (オーディション対策)
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、オーディション時に必要な様々なシチュエーションでのアフレコの演技方を身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	オーディション時に様々なシチュエーションでのアフレコの演技方を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	声優として業界で10年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オーディション時のシチュエーションにあったアフレコ原稿の説明 2 オーディション形式のアフレコ訓練1 3 オーディション形式のアフレコ訓練2 4 オーディション形式のアフレコ訓練3 5 オーディション形式のアフレコ訓練4 6 オーディション形式のアフレコ訓練5 7 オーディション形式のアフレコ訓練6 8 オーディション形式のアフレコ訓練7 9 オーディション形式のアフレコ訓練8 10 アフレコ(オーディション形式)のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
科目番号	22																				
授業科目	ナレーション（オーディション対策）																				
学部・学科	声優タレント学科2年制																				
履修年次	2年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																				
授業時間	30時間																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	現役の講師や実務経験のある職員が、オーディション時に必要な様々なシチュエーションでのナレーションを身に付けさせる。																				
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ																				
達成目標	オーディション時に様々なシチュエーションでのナレーションを身に付ける。																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記	ナレーター、俳優として業界で14年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。																				
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>オーディション時のシチュエーションにあったナレーション原稿の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>オーディション形式のナレーション訓練1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>オーディション形式のナレーション訓練2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>オーディション形式のナレーション訓練3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>オーディション形式のナレーション訓練4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>オーディション形式のナレーション訓練5</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>オーディション形式のナレーション訓練6</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>オーディション形式のナレーション訓練7</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>オーディション形式のナレーション訓練8</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ナレーション(オーディション形式)のテスト</td> </tr> </table>	1	オーディション時のシチュエーションにあったナレーション原稿の説明	2	オーディション形式のナレーション訓練1	3	オーディション形式のナレーション訓練2	4	オーディション形式のナレーション訓練3	5	オーディション形式のナレーション訓練4	6	オーディション形式のナレーション訓練5	7	オーディション形式のナレーション訓練6	8	オーディション形式のナレーション訓練7	9	オーディション形式のナレーション訓練8	10	ナレーション(オーディション形式)のテスト
1	オーディション時のシチュエーションにあったナレーション原稿の説明																				
2	オーディション形式のナレーション訓練1																				
3	オーディション形式のナレーション訓練2																				
4	オーディション形式のナレーション訓練3																				
5	オーディション形式のナレーション訓練4																				
6	オーディション形式のナレーション訓練5																				
7	オーディション形式のナレーション訓練6																				
8	オーディション形式のナレーション訓練7																				
9	オーディション形式のナレーション訓練8																				
10	ナレーション(オーディション形式)のテスト																				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況																				
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。																				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	23
授業科目	ボーカルレッスン
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、歌唱力を身に付けさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	歌の技術を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で18年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 歌唱力、技術の説明 2 課題曲を使ってのボーカルレッスンの訓練1 3 課題曲を使ってのボーカルレッスンの訓練2 4 課題曲を使ってのボーカルレッスンの訓練3 5 課題曲を使ってのボーカルレッスンの訓練4 6 課題曲を使ってのボーカルレッスンの訓練5 7 課題曲を使ってのボーカルレッスンの訓練6 8 課題曲を使ってのボーカルレッスンの訓練7 9 課題曲を使ってのボーカルレッスンの訓練8 10 ボーカルレッスンのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	24	
授業科目	レコーディングレッスン	
学部・学科	声優タレント学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	連絡	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	現役の講師が、レコーディングに必要な力を身に付けさせる。	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	レコーディングに必要な力を身に付ける。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で18年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。	
授業計画	1	レコーディングの説明
	2	レコーディング時の挨拶、段取り説明
	3	レコーディングレッスン1
	4	レコーディングレッスン2
	5	レコーディングレッスン3
	6	レコーディングレッスン4
	7	レコーディングレッスン5
	8	レコーディングレッスン6
	9	レコーディングレッスン7
	10	レコーディングレッスンのテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	25
授業科目	発表会 (歌)
学部・学科	声優タレント学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役の講師が、発表会を通してパフォーマンス力と歌唱力を上げさせる。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	発表会を通してパターンのパフォーマンス力と歌唱力を上げる。
教科書	オリジナルテキスト
特記	歌手、ボイストレーナーとして業界で18年活動している講師が実務経験に基づいて所作指導等の授業を展開する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 パフォーマンスの説明 2 選曲する 3 選曲した曲とパフォーマンスの練習1 4 選曲した曲とパフォーマンスの練習2 5 選曲した曲とパフォーマンスの練習3 6 選曲した曲とパフォーマンスの練習4 7 選曲した曲とパフォーマンスの練習5 8 選曲した曲とパフォーマンスの練習6 9 選曲した曲とパフォーマンスの練習7 10 発表会のテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加しなければ試験を受験できないものとする。